

- ・2面…市民病院の「初診時特定療養費」が上がります
- ・3面…見附台に芝生広場

特集(4・5面)…山、海、川がつくった平塚の大地



●発行 平塚市 ●編集 企画部広報課
〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号
電話 23-1111・35-1111 FAX 23-9467
<http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/>
●発行部数 102,000部(毎月1日・15日発行)

身近な「土」を見直そう～6月は環境月間です。



▲土を採取し、その中の菌類を調べる藤吉先生の研究グループのみなさん



水や空気と同じくらい重要です
東海大学教養学部
人間環境学科自然環境課程講師
藤吉正明さん

土や植物の根に存在する菌類を研究しています。土の中には多くの生物がいて、その一番の役割が「分解」です。分解によって、植物の枯れ葉などが腐食物になり、土になっていきます。分解者である土壌生物がいなくて人間の生活圏はごみの山になってしまいます。土壌生物は一般的に汚いと気持ち悪いといった視点で見られますけど、知らないところで人間は土壌生物に頼って生きているということをお忘れはいけません。

土を汚したり、壊したりすると、めぐりめぐって人間に影響がでてきます。地球を「りんご」に例えると、土はその皮の部分くらいしかありませんけど、生命の活動の中では水や空気と同じくらい重要な役割を担っています。土は一度壊してしまうと、元に戻すには途方もない時間がかかります。一つの森の中で土と植物がどう関係しているか、それが人間の暮らしにどう影響しているかを考えながら土を理解することが大切です。

大地を知り、土と生きる。

最近、ミミズを見かけることがありますか。ミミズは土の中で落ち葉などを食べてその分解を助けたり、動き回ることによって植物の根がはりやすくなるようなやわらかい土をつくってしまいます。しかし、ミミズは、舗装された道の下や、人間によって踏み固められた土の中では、えさもなく、動きもとれないため、暮らすことができません。都市化により、快適な暮らしが進む一方で、今、ミミズが暮らせるような豊かな土が失われてきています。酸素を生み出す植物を育てる土、水を浄化する土、汚れたものを分解する土…。人間は「土」がないと生きていくことができません。長い年月をかけて生まれた大地を大切に、土とともに生きているということをお忘れはいけません。六月は環境月間です。

【四・五面関連記事】



▲校内の畑でじゃがいもを収穫する平塚農業高校野菜班のみなさん



土から生き方を学んでほしい

平塚農業高校教諭
柳川武夫さん

農業高校野菜班では、環境への負荷を考え、有機農業を実践しています。土の良し悪しが作物の生長を左右するので、野菜づくりでは土づくりが大切です。土というのは生きていますから、除草剤などの農薬や多くの化学肥料を使えば労力は軽減できますが、それでは土が死んでいくためには、有機物や微生物の力が必要です。また、土はいろいろと化学肥料を使わずにできますが、有機肥料でつくる

と早くも半年はかかります。校内では落ち葉などをリサイクルし、一年ほどかけて、腐葉土をつくっているんですよ。子どもたちも土にふれることで生き生きと生きてきます。作物と同じ気持ちになれるのでしょうか。土にふれるうちに大地への感謝が生まれ、作物に愛着が持てているようです。土離れが進んでいますが、土を見直し、子どもたちが土から生き方や考え方を学んでくれたらいいなと思っています。

落ち葉がしきつめられた土の上で、いくつもの小さな緑が芽生えています。さて、この表紙の写真は市内のどのあたりで撮影したものでしょうか。

実は、この写真の撮影場所は自然豊かな森の中ではありません。市役所の北側にある横浜地方務局平塚出張所の花壇の地表を写したものです。市街地でもふと目を向けると、こうした命をはぐくんでいる土に出合えることができます。しかし、土に関心がなくなっているからでしょうか、日常の暮らしの中で、こうした風景に足をとめることが少なくなっているようです。そればかりではありません。土のことを考えないことから、ときには市街地の土の上に、缶やびん、プラスチック類といった自然

界ではいつになっても分解されないものが捨てられていることがあります。さらに、土を痛めつける行為は山間部でも後を絶ちません。人目が少ないところをねらい、大型の電化製品や、家具類、タイヤなどが捨てられているところもあります。

土が汚れば、やがてそこしみに込む水が汚れ、さらにはその水が蒸発し、空気が汚れていきます。また、土の汚れが植物に吸収されると、その植物を食べる動物や人間にも影響がでます。

汚れた土を元に戻すことは簡単ではありません。豊かな土を未来へ受け継いでいくために、わたしたちには何ができるでしょうか。土を汚さないために普段からできることがきつとあるはずですよ。



職員を募集します

市民病院看護職員

◆看護師<30人>・助産師<5人>

▷対象 昭和50年4月2日以降に生まれ、看護師(助産師)の資格がある人(平成18年3月31日までに資格取得見込みの人を含む)

※助産師、専門看護師、認定看護師の資格がある人と、看護師の資格があり手術部門の経験がある人は年齢要件を緩和します

▷応募締切日/試験日 ①7月14日(木)/7月24日(日) ②9月2日(金)/9月11日(日) ③12月2日(金)/12月11日(日)

▷応募方法 病院総務課に「募集案内」を請求してください

▷採用予定日 平成18年4月1日 ※すでに資格がある方は採用日が早まる場合があります

☎ 病院総務課(市民病院内・☎32-0015内線3197)

嘱託員

◆母子保健心理相談嘱託員<1人>

▷対象 昭和25年4月2日～昭和51年4月1日に生まれ、母子保健や児童福祉業務の経験がある人、または大学で心理学または教育学を専攻した人

▷勤務日時 週3日、午前8時30分～午後5時15分(週24時間)

▷賃金 月額144,200円

▷採用予定日 9月1日

◆勤労者共済会嘱託員<1人>

▷対象 昭和25年4月2日～昭和46年4月1日に生まれ、3年以上の経理実務経験があり、自動車の運転とパソコンの操作ができる人

▷勤務日時 週5日(月～金曜日)、午前8時30分～午後3時15分、または午前10時～午後4時45分

▷賃金 月額141,140円

▷採用予定日 10月1日

◆一次試験日時 6月26日(日)午前9時30分～正午

◆応募方法 職員課(市役所3階)にある「受験申込書」を本人が直接提出してください

◆締め切り 6月22日(水)

☎ 職員課(☎21-8762)



来院される方の健康を考え、市民病院は7月1日から全面的に「禁煙」になります。敷地内での喫煙はご遠慮ください。

7/1から1,020円に値上げ

市民病院の「初診時特定療養費」

地域医療の連携を図り、医療サービスを向上させるため、紹介状を持たずに市民病院で診療を受ける方にお支払いいただいている「初診時特定療養費(現行四百二十円)」を、七月一日から一千二百円に改定します。

初診時特定療養費とは? 地域医療の中核を担う病院と、地域の診療所との機能分担を進めるために設けられているものです。診療所などからの紹介状を持たずに、市民病院などベッド数二百床以上の病院の診療を初診で受ける場合、初診料とは別にその病院が定めた額の「初診時特定療養費」をお支払いいただいています。

さらに、平成十八年七月一日からは一千六百三十円に、平成十九年七月一日から二千二百四十円とする。格差を解消していきます。

円なので、両者の間には一千七百二十円の差があります。この差を解消するために実施するのが今回の「初診時特定療養費」の改定です。段階的に額を改定



活用してください 個人情報保護制度

平成十六年度の「情報公開制度」と「個人情報保護制度」の主な実施状況をお知らせします。

◆問い合わせ先 市民情報相談課(☎21-8764)

【情報公開制度】市が持っている情報をみなさんに知っていただくための制度です。

市役所一階の市政情報コーナーで、行政情報などの資料を閲覧することができます。

▽行政文書公開請求 157件

「初診時特定療養費」、こんな場合はいただきません 救急車での来院など、緊急な診療が必要で来院された場合、「初診時特定療養費」は不要です。

診療順序は「紹介状」がある方を優先 市民病院では、現在、予約以外の方の診療は「受け付け順」に実施しています。七月一日からは、診療所



などからの紹介状がある方を優先します。「かかりつけ医」で診療を受けてから、必要に応じて市民病院の診療を受診することを勧めます。

③市のほかの附属機関(審議会などの委員ではない) ④平日の会議に出席できる ⑤募集人数 1人(選考) ⑥任期 9月1日～平成19年8月31日 ⑦開催予定 年5～8回 ⑧報酬 1回あたり一万一千三百円

▽応募方法 市役所1階案内窓口、公民館、駅前市民窓口センター(MNビル11階)にある応募用紙を、市民情報相談課(〒254-8686浅間町9-1・☎21-9609)へ

※応募用紙は市のホームページ内「市民情報・相談課」からも取り出せます

▽締め切り 7月14日(木)

①市内に1年以上在住 ②委嘱時に18歳～75歳

「利用団体」と「ボランティア運営委員会」の委員を募集します

リサイクルプラザには、プラスチック製容器包装類(プラクル)などの資源再生物の処理施設のほかに、会議室をはじめとしたみなさんにご利用いただける施設があります。

◆問い合わせ先 リサイクルプラザ(☎51-5301) 利用団体として登録を リサイクルや環境保護などに取り組む活動をしてい

参加者募集 市民と市長の いどばた会議

福祉や環境、教育、まちづくりなどについて、市長と話しませんか。

◆コース・日時・会場
【地域で話そうコース】
①7月14日(木)午後6時30分～9時30分 旭南公民館
②7月27日(水)午後6時30分～9時30分 富士見公民館

◆定員 各20人(開催地域の方を優先して抽選)

◆申し込み方法 参加希望日と、住所、氏名、電話番号を電話、ファクス、Eメールで市民情報・相談課(☎21-8764・☎21-9609・✉jousou@city.hiratsuka.kanagawa.jp)へ
※市のホームページ「いどばた会議」からもお申し込みいただけます
http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/idobata/

◆締め切り 7月4日(月)

☎ 市民情報・相談課(☎21-8764)

分かりやすい条例にしたいですね

自治基本条例策定委員 武藤登美夫さんに聞きました

わたしたち農業をしている者にとって、自治会やPTA、消防団など、地域のことに参加することはごく自然なことなんです。ですから、自治基本条例の策定にも、いつもどおり自然体で取り組んでいます。

条例を作っていく上で、わたしが大切にしたいと思っているのは、平塚で暮らす人たちにとって「分かりやすい条例」にすることです。「難しいことばかり書いてあって読みたくない」と言われるようではいけないと思っています。

会議では、思ったことは必ず言うようにしています。恥をかくことも多いのですが、そういう役割の人が自治基本条例の策定には必要だと思うし、市民の一人として、自分はそういう役目を負っていると思っています。

JA湘南の施設野菜部会長も務める武藤さん。「条例作りも野菜作りと一緒に。ついでに入りますね。」

☎ まちづくり政策室(☎21-9618)

学校のこと、まちのこと。発表しようみんなの思い。 青少年議員に立候補しよう

◇問い合わせ先 青少年課(☎32-7029)

▷日時 本会議 10月29日(土)午前9時～午後2時 準備会 8月3日(水)・5日(金)・9日(火)、10月22日(土) 報告発表会 11月20日(日)

▷対象 小学校5年生～中学校3年生 ▷定員 34人(選考)

▷申し込み方法 青少年会館、公民館でお配りする申込書を青少年課(青少年会館内)へ

▷締め切り 7月15日(金)

見附台体育館跡地に



間もなく
できます

芝生の広場

広場は7月13日(水)から一般に開放します。
※この広場は、平成21年度に予定している見附台周辺地区の整備開始までの暫定的なものです。

今年三月に解体した見附台体育館の跡地に、間もなく芝生の広場が誕生します。公共的な広場として、散歩やピクニック、ジョギングなど、レクリエーションや健康づくりにご利用ください。

◆問い合わせ先 都市整備課(☎21-8783)



市長コラム まちひと語り 市長 大藏 律子

父の日に思い出す大切な言葉

わたしには、生き方を支えてくれた言葉があります。それは、中学生のときに父からもらった「三つの自由」の話です。みなさんにも人生を支えている言葉があることでしょうか。何かの日をきっかけにそんな言葉を思い出してみるのも良いことです。

六月十九日は父の日です。最近、育児や家事にも積極的な父親が増えています。子どもを肩車している父親を見ると、こちらも穏やかな気持ちになります。

わたしの父は、明治生まれの鹿児島男児で、正義感が強く、安易な妥協はしない人でした。子どものわたしに、がみがみ言うようなことはありませんでした。父の「重さ」をすごく感じる人でした。

その父が「お前には三つの自由がある」と中学生だったわたしに言いました。三つの自由とは、何をどこで学ぶかという「学問の自由」。どんな仕事に就くかという「就職の自由」。それから、だれと結婚するかという「結婚の自由」でした。

高校に合格した翌日には、父から奨学金の手続き書を渡されました。田畑などの資産状況は父がすでに記入していましたが、あとは自転車や山坂を乗り越えて、市役所の窓口で手続きを済ませるまで、すべてわたしがしました。

大学に進学するときも、就職のときも、結婚のときも、父はわたしの判断を尊重してくれました。振り返ってみると、わたしが「早くから独立心がある人だった」と言われたのも、父が語った「三つの自由」を身につけたことがありのように思います。

(市長コラム、次回9月15日号)

◆団体での利用は事前にお申し込みを
広場を独占して使うことはできません。※営利目的の場合は有料です

▽利用時間 午前9時～午後6時

◆みんなの広場です。大切に使いましょう
立て看板の掲出、たき火や騒音を出すこと、ゴルフの練習などの危険な行為はご遠慮ください。

夏休み ボランティア活動

ボランティア活動を体験して、自分の力を社会のために役立ててみませんか。

▽実施日 7月20日(水)～8月31日(水)の3日間程度

※7月16日(土)にオリエンテーションを、8月27日(土)に報告会を開きます

▽対象 市内にお住まい、お勤め、通学の中学生～25歳の方

▽定員 100人(先着順)

▽申し込み方法 電話で、または住所、氏名、電話番号、学校名・学年(勤務先・年齢)を記入して、ファクス、Eメールで市民活動センター(☎22-3701・hiratsuka)

湘南ひらつか七夕まつり

新しい織り姫が誕生

6月5日(日)に開催した湘南ひらつか七夕まつり「織り姫コンテスト」。

総勢51人のステージ審査出場者(応募者77人)の中から、金子純子さん(逗子市・写真左)、青木江麻さん(伊勢原市・写真中央)、落合恵子さん(平塚市・写真右)が見事、織り姫の座に輝きました。

3人の織り姫は、7月6日(水)から10日(日)まで開催する「湘南ひらつか七夕まつり」をはじめ、様々な場で活躍します。

問 商業観光課(☎35-8107)

豆記者を募集。みんなでつくろう！子ども広報「なでこり」

平塚の話題や出来事「楽しみ」や「不思議」取材しませんか。

▽対象 市内にお住まいの小学校5・6年生

▽定員 10人(抽選)

▽第1回編集会議 7月16日(土)午前9時～正午

▽取材活動日 夏休み期間(☎21-8761)へ。

図書館の仕事体験 一日図書館員を募集

本の貸し出しや受け取り、整理などを体験しませんか。

▽日時 7月26日～8月2日の火・水・木・金曜日、午前9時～正午または午後1時～4時

▽対象 市内にお住まい、通学の小学生

▽定員 4人～12人(抽選 ※各館で異なります)

▽締め切り 6月21日(火)お申し込みは、各図書館、小学校にある申込書を希望する図書館へ。

・中央図書館(☎31-0415)

・北図書館(☎53-1232)

・西図書館(☎36-3555)

・南図書館(☎21-3080)

中央公民館ファミリー劇場

影絵劇 アラジンと魔法のランプ

「お呼びでございますか、ご主人様～」。アラジンが魔法のランプをこすると大きな魔神が現れた。さあ！大冒険の旅にみんなも一緒に出発しよう。

▷日時 7月23日(土)午後1時30分開演

▷会場 中央公民館

▷対象 市内にお住まい、お勤め、通学の方

▷定員 701人(先着順)

▷申し込み方法 はがき(1家族1枚)に住所、観覧希望者全員の氏名と年齢、電話番号、市外にお住まいの方は勤務先・通学先を記入して、中央公民館(〒254-0047追分1-20)へ

問 中央公民館(☎34-2111)

市民センターでクラシックと歌謡曲のコンサート

問 文化財団(☎32-2237)

真夏のクラシックの調べ カルテットの楽しみ

新進気鋭の音楽家たち

弦楽カルテットによるサロンコンサートをお楽しみください。

▷日時 8月10日(水)午後6時30分開演

▷会場 市民センター3階 サロン・ド・ミュージック

▷出演 田中園子、坂井みどり、升水洋、原田あずさ

▷曲目 ディヴェルティメント第1番 二長調K.136(モーツァルト)ほか

▷入場料 1,000円(コーヒー付き)

※チケットは、市民センターで販売中です

星まつり湘南音楽祭 昭和歌謡

思い出いっぱいコンサート

懐かしい名曲の数々で、あの時代がよみがえります。

▷日時 8月26日(金)午後2時30分・午後6時30分開演(2回公演)

▷会場 市民センター

▷出演 三田明、三善英史、平浩二、北原ミレイ、高田恭子

▷入場料 S席3,000円、A席2,000円(全席指定)

※チケットは、市民センター、山野楽器平塚ラスカ店、ヨネザワ楽器で販売中です

お申し込みはお早めに。

夏休みは「びわ青少年の家」で

◇問い合わせ先 びわ青少年の家(☎59-0871)

夏休み期間中の「びわ青少年の家」の利用申し込みを受け付けています。平日を中心に、まだ若干の空きがあります。どうぞ、お早めにお申し込みください。

▷対象 市内にお住まい、お勤め、通学の青少年(10人以上のグループ)

▷定員 宿泊棟60人、キャンプ場(常設テント)80人

▷休館日 月曜日

健康福祉

保育実習にチャレンジしよう

保育園児との生活を体験する高校生を募集します。

▽日程 7月26日(火)～8月3日(水) ※実習5日間

▽対象 市内にお住まい、通学の高校2・3年生

▽定員 120人(先着順)

お申し込みは、児童福祉課(☎21-9612)へ。

聴覚・補装具・車いすの相談会を開きます

市役所南附属庁舎一階のD・E会議室で開催します。身体障害者手帳と印を持ってお越しください。

▽聴覚
▽日時 7月1日(金)午後1時～2時

▽補装具
▽日時 7月22日(金)・8月26日(金)・9月16日(金)午後1時～2時

▽車いす
▽日時 7月22日(金)・9月16日(金)・9月22日(金)午後1時～2時

児童手当の現況届は6月中旬

児童手当を受給している方は、資格確認のため現況届を提出してください。

▽期限 6月30日(木)

▽提出場所 市役所1階市民ホール

お問い合わせは、児童福祉課(☎21-9612)へ。

高齢者のための技術講習会を開きます

市内にお住まいの六十歳以上の方を対象に、高齢者技能センターで開きます。往復はがきに希望する講座名、住所、氏名、年齢、電話番号を記入して、六月二十二日(水)までに生きがい事業団(〒254-0073西八幡一丁目三十一番二・☎33-2335)へお申し込みください。

①ふすま張り替え講習会
▽日時 7月4日(月)～6日(水)午前9時～午後4時
▽費用 三千元

▽定員 10人(抽選)

②パソコン講習会
ローマ字入力ができる方

骨粗しょう症の検診

体を支える大切な骨の健康を考え、骨粗しょう症にかかる前に、検診を受けましょう。

- ▷期日 7月22日(金)・9月2日(金)
- ▷受け付け時間 午前9時～11時
- ▷会場 保健センター
- ▷対象 市内にお住まいで、昨年同検診を受けていない昭和10年4月1日～41年3月31日に生まれた女性
- ▷定員 各日50人(先着順)
- ▷費用 500円(70歳の方は無料)
- ▷申し込み先 保健センター(☎34-0311)

高齢の方に「住まい探しの相談会」を開催

住まい探しのアドバイスや、年齢を理由に入居を拒否されることのない賃貸住宅の斡旋をします。

▽日時 6～11月の第3木曜日、午後1時30分～3時30分 ※予約制

▽会場 福祉会館(11月は中央公民館)

▽申し込み先 (社)かながわ住まい・まちづくり協会(横浜市中区弁天通3-48・☎045-664-6896)

賃貸住宅の情報は、かながわ県民センター(横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2)でもご覧いただけます。

また、高齢者の住まい探しをお手伝いしていただけるボランティアを募集しています。

お問い合わせは、高齢福祉課(☎21-8778)へ。

健康教室に参加して「健康アップ!」

- ①骨コツ貯蓄、健康UP(食べる&聞くコース)
▽日時 7月6日(水)午後1時30分～3時30分
- ▽会場 保健センター
- ▽定員 30人(先着順)
- ②さらさら血液にするために(医師・栄養士の話)
▽日時 7月13日(水)午後1時30分～3時

福祉村からこんにちは

あっちでもサロン、こっちでもサロン

「福祉村まで歩いていくのは無理だけど、ここなら近いから大丈夫。これから楽しみます。」(城島地区の自治会館で開かれた「ミニサロン」参加者の一言)

今年二月に誕生した「城島ふれあいの里(城島地区町内福祉)

自治会館で開くミニサロンには、「城島ふれあいの里」をはじめ、「いちごの会(金田)」、「おかざき鈴の里」なども取り組んでいます。

「福祉村」では、オープンまでの期間、宣伝を兼ねて五つの自治会館で「ミニサロン」を開きました。参加したお年寄りは、ボランティアと一緒に歌ったり、簡単な体操をしたりして楽しい時間を過ごしました。

福祉村の活動は拠点施設だけでなく、地域に根ざすこと、地域の資源をできる限り活用していくこととしています。それは、「一人でも多くの人に参加してもらいたい」という思いに込められています。

福祉村が出した一つの答えなのかもしれません。

◆福祉政策課(内線2-15)

「ひきこもり家族教室」を開きます

家族だけで悩まずに参加してみませんか。

▽日時 6月19日(日)午前10時～正午・8月19日(金)午後2時～4時(ほか)

▽会場 平塚保健福祉事務所(豊原町6-21)

▽申し込み先 平塚保健福祉事務所保健予防課(☎32-0130)

「ひきこもり家族教室」を考えませんか。「お互いを認め合う介護術」

介護者と要介護者の立場を考え、介護のヒントを探ります。

▽日時 7月2日(土)午前10時30分～午後0時30分

▽会場 ひらつかスカイプラザ(MNビル11階)

▽講師 久田則夫さん(日本女子大学人間社会学部社会福祉学教授)

▽定員 150人(先着順)

お申し込みは、基幹型在宅介護支援センター(☎33-2334)へ。

不用品登録情報

お譲りします

◇譲ってください
男子服(140cm)、ベビーカー、シングルベッド、パン焼き機、洗濯機、電子辞書、冷蔵庫、扇風機、テレビ、ミシン、一輪車、野球グローブ(大人用)、子ども用自転車、バイク(50cc)

◇譲ります ①有料 ベビーラック、ベビー布団、チャイルドシート、コンビラック、ベビーバス、ゆりかご、テレビ台、老人用手押し車、マウンテンバイク(24インチ) ②無料 男児服(100～120cm)、赤ちゃん用いす

・問い合わせ時に品物がない場合もあります
・修理が必要なものは登録できません
・ホームページからご覧いただけます
<http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kankyo/>

ひらつか防災24時

Vol.3 6月は土砂災害防止月間

梅雨の季節は、長雨や集中豪雨などにより地すべりや土砂崩れなどの災害が発生しやすくなります。平塚市内にも、土砂災害が発生しやすい場所があります。日ごろから自宅の周りの急傾斜地などの危険な場所を確かめて、安全対策を考えておきましょう。

1時間に20mm以上の雨が降ったり、降り始めからの雨量が100mmを超えたりしたら要注意です。テレビや



ラジオの気象情報に注意し、早めの避難を考えてください。

◇
◇
◇

「みんなで築く 災害に強い人と街づくり」

「平塚市防災標語」に応募があった20点の中から、春日野中学2年生の坪井千明さんの作品(上標語)が最優秀賞に選ばれました。

◆防災課(☎21-9734)

し尿の収集

くみ取り式のトイレを利用している場合、し尿の収集に料金がかかります。

■料金、くみ取り日は
一般家庭は原則として定額制(1人につき1か月210円)で、およそ20日間隔のくみ取りとなります。

また、事業所、店舗、寮、アパートなどで不特定多数が利用するトイレや簡易水洗トイレは従量制(1リットルあたり6.3円(ほか))となっており、必要に応じて収集します。

■新しく収集を希望する場合
新規にくみ取りを希望する方は、環境業務課(市役所新館2階)で、手続きをし、定額制の場合は「くみ取り確認カード」、従量制の場合は「くみ取り伝票」の交付を受けてください。

なお、定額制で定期くみ取り以外にくみ取りが必要となったり、トイレが2か所以上あったりする場合、臨時くみ取りの申し込みをしてください。

■環境業務課(☎21-8796)

外枠の破線で切り取り、市販のポケットアルバムなどに入れて使うと便利です。

Welcome! LAWRENCE. ようこそ平塚へ。

ローレンスの青少年を歓迎しよう

◇問い合わせ先 交流親善課(☎25-2520)

姉妹都市・アメリカ合衆国ローレンス市の中学生・高校生18人が、6月16日(木)から25日(土)まで平塚を訪れ、日本の生活を体験します。期間中、市民のみなさんとの交流会を開きます。どうぞ、お気軽にご参加ください(参加自由)。

▷日時 6月22日(水)午後1時～3時 ▷会場 大原公民館

情報館

平塚市役所
〒254-8686 浅間町9-1
☎23-1111-35-1111

◆竹飾りコンクールにご参加ください

七夕まつりでまちを飾る竹飾りのコンクールを開きます。子ども会や地域のみなさんが参加できる部門もあります。ぜひ、ご参加ください。

▽受け付け場所 市民税課(市役所1階⑨番窓口)

▽締め切り 6月28日(火)

お問い合わせは、市民税課(☎21-8766)へ。

◆観覧招待券付き「願かけ花火」願いごと募集

七月二十二日(金)に開く「湘南ひらつか花火大会」で好評の「願かけ花火」を打ち上げます。願い事を花火に託してみませんか。

お申し込みいただいた方には、当日の「願かけ花火観覧エリア招待券(一人分)」と、願い事を書き込んだ「願

かけだるま絵」をプレゼントします。

▽料金 二千元(振り込み手数料込み)

▽申し込み方法 市役所1階案内窓口、湘南ひらつか総合案内所(駅ビルラスカ2階)、公民館などにある申込書に「4文字の願い事」を記入して、同大会事務局(〒254-0051豊原町2-21・豊原分庁舎1号館3階・商業観光課内・☎35-8104)へ

※市のホームページ内「花火大会」からもお申し込みいただけます。

▽締め切り 7月11日(月)

お問い合わせは、商業観光課(☎35-8107)へ。

◆市民文化「夏の部」の作品を募集します

日ごろの文芸活動の成果を発表しませんか。

▽部門と題
・俳句「蟻(あり)」
・浴衣(ゆかた) 3句まで

・短歌 題は自由、5首まで

・川柳 「七夕」3句まで

・現代詩 題は自由、800字以内、1編

▽対象 市内にお住まい、お勤め、通学の方

▽応募規定 ①未発表作品
②部門ごとにはかきで(詩は原稿用紙に書いて封書で)

③楷書で分かりやすく(読みにくい文字にはふりがなを)
④はがきの表に部門と住所、氏名、電話番号、勤務先学校名、裏に作品名を記入(詩は別紙を付ける)

▽締め切り 6月30日(木)

お問い合わせは、社会教育課(〒254-0051豊原町2-21・豊原分庁舎1号館3階・☎35-8120)へ。

◆暮らしの講座「おいしい野菜をおいしく食べよう」

小松菜の収穫を体験しながら、おいしくて安全な野菜の選び方を学び、農家の方と交流しましょう。

▽日時 6月24日(金)午前9時30分~11時30分

▽会場 JA湘南城島支所(小鍋島60)ほか

▽対象 市内にお住まいの方

▽定員 30人(先着順)

お問い合わせは、市民活動課(☎21-7534)へ。

◆来年度用の教科書を展示します

平成十八年度用の小・中学校、高等学校用検定済み教科書を展示します。

▽日時 6月17日(金)~30日(木)午前9時~午後4時

※土・日曜日も開催
▽会場 県平塚合同庁舎5階5B会議室

※小・中学校用検定済み教科書は、中央図書館で閲覧することもできます。

お問い合わせは、指導室(☎35-8120)へ。

◆親子陶芸教室に参加しませんか

市内にお住まいの小学生から高校生までの方と保護者を対象に開講します。

▽日時 7月23日(土)、8月6日(土)・20日(土)午前10時~正午

▽会場 青少年会館

▽定員 50人(先着順)

▽材料費 一人一千元

お問い合わせは、青少年課(☎32-7029)へ。

◆12月の公演に向けて第九合唱団員を募集します

十二月四日(日)に市民センターで開く「湘南ひらつか第九のつどい」の参加者を募集します。

▽対象 小学校4年生以上で練習に参加できる方(初心者には「特別練習」があります)

▽定員 200人(先着順)

▽参加費 一般五千元、高校生・大学生三千元、小学生一千元

お問い合わせは、市民センターにある申込書に参加費を添えて、文化財団(市民センター内・月曜日は休み・☎32-2237)へ。

◆「農地転用の届け出し」受理書を即日交付します

これまで交付手続きに一週間ほどかかっていた市街化区域内の農地転用届け出しの受理書は、七月一日から即日交付します。

お問い合わせは、農業委員事務局(内線23038)へ。

◆任期満了に伴う農業委員会委員の選挙を実施します

市農業委員会委員選挙人名簿に登録されている方に

投票権があります。

▽告示日 6月26日(日)

▽投票日 7月3日(日)

▽開票日 7月3日(日)

お問い合わせは、選挙管理委員会事務局(☎21-8795)へ。

◆国際協力を考えるポスターと作文を募集します

国連・平和・安全・人権・地球環境などをテーマにした作品を募集します。

▽対象(規格)
〈ポスター〉小・中学生(四つ切り)、高校生(半切)、一般(半切、四つ切り)

〈作文〉中学生(400字詰め原稿用紙4枚以内)

▽締め切り 7月8日(金)

▽応募方法 住所、氏名、電話番号、学校名、学年を記入して、通学している小・中学校、または交流親善課(〒254-0031天沼7-8松原分庁舎・☎25-2520)へ

◆教育委員会定例会を傍聴しませんか

▽日時 6月24日(金)・7月27日(水)午後2時開会

▽会場 豊原分庁舎1号館1階会議室

お問い合わせは、教育総務課(☎35-8113)へ。

◆幼稚園の保育料を減免します

所得状況に応じて幼稚園の入園料・保育料を減免します。幼稚園でお配りする申出書を直接幼稚園に提出してください。

お問い合わせは、学務課(☎35-8118)へ。

◆木造耐震改修工事の補助工法を拡大しました

木造住宅の耐震改修工事をするときに補助対象となる工法が増えました。

お問い合わせのうえ、ご利用ください。

◆木造住宅 昭和56年6月

お問い合わせは、市税総務課(☎21-8769)へ。

◆6月納期の市税・手数料

- 市県民税 (第1期)
- 国民健康保険税 (第1期)
- 介護保険料 (第1期)
- 清掃し尿従量手数料 (第3期)
- 清掃し尿ごみ定額手数料 (第1期)

◆納期最終日 6月30日(木)

コンビニで納められるバーコード付き納付書は、切り離してお送りします。納期の間違いにご注意ください。

市税総務課(☎21-8769)

◆6月納期の市税・手数料

- 市県民税 (第1期)
- 国民健康保険税 (第1期)
- 介護保険料 (第1期)
- 清掃し尿従量手数料 (第3期)
- 清掃し尿ごみ定額手数料 (第1期)

◆納期最終日 6月30日(木)

コンビニで納められるバーコード付き納付書は、切り離してお送りします。納期の間違いにご注意ください。

市税総務課(☎21-8769)

◆6月納期の市税・手数料

- 市県民税 (第1期)
- 国民健康保険税 (第1期)
- 介護保険料 (第1期)
- 清掃し尿従量手数料 (第3期)
- 清掃し尿ごみ定額手数料 (第1期)

◆納期最終日 6月30日(木)

コンビニで納められるバーコード付き納付書は、切り離してお送りします。納期の間違いにご注意ください。

市税総務課(☎21-8769)

◆6月納期の市税・手数料

- 市県民税 (第1期)
- 国民健康保険税 (第1期)
- 介護保険料 (第1期)
- 清掃し尿従量手数料 (第3期)
- 清掃し尿ごみ定額手数料 (第1期)

◆納期最終日 6月30日(木)

コンビニで納められるバーコード付き納付書は、切り離してお送りします。納期の間違いにご注意ください。

市税総務課(☎21-8769)

◆6月納期の市税・手数料

- 市県民税 (第1期)
- 国民健康保険税 (第1期)
- 介護保険料 (第1期)
- 清掃し尿従量手数料 (第3期)
- 清掃し尿ごみ定額手数料 (第1期)

◆納期最終日 6月30日(木)

コンビニで納められるバーコード付き納付書は、切り離してお送りします。納期の間違いにご注意ください。

市税総務課(☎21-8769)

「ふたりはプリキュア MaxHeart」&「魔法戦隊マジレンジャー」キャラクターショー



入場引換券は、6月24日(金)から市民センター、市役所1階案内窓口、駅ビルラスカ2階湘南ひらつか総合案内所、公民館でお配りします。

商業観光課(☎35-8107)

▽日時 7月10日(日)午前11時~午後2時開演(2回上演)

▽会場 市民センター



こちらでみZERO情報局

No.3 生ごみのダイエットをしよう

「燃せるごみ」を出すとき、「重い」と感じたことはありませんか。それは「生ごみ」が原因かもしれません。

平成16年度は、8万トンを超える「燃せるごみ」が焼却場に持ち込まれましたが、実に、その成分の約半分が水分でした。これでは、ごみ収集車2台のうち1台が「水」を運んでいることになります。

特に夏場は、水分を多く含んだごみが出される時期です。みなさんが三角コーナーや水切りネットなどを利用して生ごみの水を切り、さらに絞ったり乾かしたりすれば、「燃せるごみ」を減らすことができます。

ほかに、市では生ごみ処理機(コンポスター)の軽旋や、電動生ごみ処理機の購入費の補助をしています。生ごみを堆肥化して、家庭菜園などで使うことも考えてみてはどうでしょう。

◆資源循環課(内線2185)

生ごみも資源循環。コンポスターで堆肥(資源)に生まれ変わります。

監査の結果

平成十六年度財務に関する事務の定期監査を実施した結果、次の事務は良好に執行されていきました。

▽市民情報・相談課、市民安全課(収入・支出事務、備品管理)▽秘書課、広報課、防災課(支出事務、備品管理)▽まちづくり政策室(支出事務)

感動のドラマは 燃える!湘南ベルマーレ

平塚競技場 14:00~ 湘南 vs 鳥栖

平塚競技場 19:00~ 湘南 vs 仙台

平塚競技場 19:00~ 湘南 vs 山形

◆主なチケット販売所
■梅屋(本館1階)
■総合公園管理事務所
■サクラ書店各店
■神奈中駅前サービスセンター

◆座席・前売り料金
指定席 3,500円
自由席(大人) 2,000円
自由席(小学生~高校生) 700円
ファミリー席(大人1人+小学生~高校生1人) 2,200円

☆65歳以上の方は無料で自由席に入れます。運転免許証など、年齢を証明できるものをお持ちください。

プロ野球 セ・リーグ 公式戦

8月30日(火)午後6時、平塚球場でプレーボール

横浜ベイスターズ vs 広島カープ

◆問い合わせ先 総合公園管理事務所(☎35-2233)

6球団がひしめく混戦のプロ野球セントラルリーグ。広島赤ヘル打線を迎え、牛島監督率いるベイスターズはどんな戦いをみせるのか。

▽前売り料金 ネット裏指定席4,500円、内野指定席④4,000円、内野指定席③3,200円、外野席(一般)1,500円、外野席(小学生~中学生)500円

※前売券は6月18日(土)から総合公園管理事務所販売します

赤ちゃんの健康メモ



保健センター
・中里34-17
・☎34-0311

バス 平塚駅北口⑤番線から諏訪町・農業高校経由市民病院行き、「医療センター前」下車、大人片道170円 ※同番線からの湘南日向岡行き、東海大学行き、金田公民館行きも停車します。

7月のカレンダー

会場・問い合わせ先は保健センターです。母子健康手帳を忘れずに。

母親父親教室

【前期 妊娠6か月までの方】

- 4日(月)午後1時30分～3時15分、歯の衛生・妊娠中の過ごし方
- 11日(月)午前10時～午後2時、調理実習で学ぶ妊娠中と産後の栄養<予約制>

【後期 妊娠8か月以降の方】

- 25日(月)午後1時30分～3時15分、お産の進み方と産後の過ごし方、呼吸法。祖父母教室も開催
- 29日(金)午後1時30分～3時30分、赤ちゃんのおふる

子育て相談

【妊婦・新生児の訪問相談】

ご自宅で、妊娠中の健康

管理や新生児に関する相談をお受けします<予約制>。

【育児相談】

生活、歯の衛生、食事の相談。

◇受け付け 毎週水曜日午前9時30分～10時30分

【ここにご相談】

生活、食事の相談。

◇受け付け 13日(水)・27日(水)午後1時30分～3時

乳幼児の健康診査

【個別健康診査】

医療機関へ直接お申し込みください。実施医療機関の一覧表は保健センターでお配りしています。

◇4か月児対象(満4か月～5か月未満)



♡町田由華ちゃん
平成16年6月21日生まれ
(万田)



♡菅鈴奈ちゃん
平成16年10月2日生まれ
(土屋)



♠佐藤碧ちゃん
平成16年7月16日生まれ
(追分)

応募方法 カラー写真の裏に赤ちゃんの氏名(ふりがな)・生年月日・性別・住所・電話番号を記入し、広報課「赤ちゃんのステージ」係(〒254-8686 浅間町

赤ちゃんのステージ

9-1)へ。対象は市内にお住まいの1歳未満(掲載時)の赤ちゃん。締め切りは前月の20日(抽選)。応募は1回あたり1通まで。今回の応募は51人。



♠新木碧ちゃん
平成16年9月13日生まれ
(撫子原)



♡中丸遥菜ちゃん
平成17年4月13日生まれ
(明石町)



♡高野陽菜ちゃん
平成16年6月26日生まれ
(諏訪町)

★応募写真は平塚市ホームページ「広報ひらつか」のコーナーでも紹介します。デジタル写真の応募も同サイトをご利用ください。

子育て教室

お子さんと一緒に学べる体験教室です<予約制>。

【すくすく子育て教室】

5～6か月児対象。赤ちゃんの病気と育児・遊び方など。

● 6日(水)午後1時30分～3時30分

【歯っぴい教室】

12か月～1歳3か月児対象。

● 7日(木)午前10時～11時

【のびのびキッズ2歳児教室】

2歳児対象。時間は午前10時30分～11時30分です。

● 1日(金)親子遊びなど
● 8日(金)楽しい食事と好き嫌い
● 15日(金)むし歯予防とブラッシング実習

離乳食の教室

離乳食の進め方など成長に合わせてのコースです。1週間前までにご予約ください。

【ごっくん離乳食教室】

● 3～5か月児対象、28日(木)午後1時30分～2時40分

【もぐもぐ離乳食教室】

● 7～8か月児対象、1日(金)・15日(金)午後1時30分～3時

【カミカミ離乳食教室】

● 9～12か月児対象、14日(木)午前10時30分～11時30分

【離乳食卒業教室】

● 1歳1か月～1歳5か月児対象、26日(火)午前10時30分～11時30分

ひらつか図鑑

●第15回●
学校日誌

▼平塚市第二国民学校の学校日誌



▲平塚大空襲で焼失した平塚市第二国民学校の校舎。写真提供：港小学校

空襲直後の第二国民学校

昭和二十年(一九四五年)七月十六日の平塚大空襲から今年で六十年になります。博物館ではこの空襲の翌日から記された平塚市第二国民学校(現港小学校)の『学校日誌』を保管しています。日誌は宿日直当番の教員が書いたもので、空襲直後の学校の様子がうかがえます。日誌初日の七月十七日は「宿直者ハ防空壕内ニテ執務」という状況で、死亡六人・負傷四人の「戦災児童」が確認されています。十八日には「罹災後ノ職員室造リ」が始められ、その後、二宮・大磯・旭などの国民学校の教員・児童もかけつけて「焼跡整理」(七月二十六日)、「校舎間の元の作物栽培地ノガラス拾ひ」(同三十一日)などをした記

録があります。空襲は十七日以後も見られ、七月三十日には「機銃掃射ノため職員室ニ輕微ナル被害」があり、八月十五日までに警戒・空襲警報のない日は二日間だけという緊迫した日々が続きました。なお、七月二十八日には海宝寺(幸町)境内など四か所を授業場とし、雨天は休校にする授業計画が定められています。これらの記録からは、頻繁な警報や艦載機の襲来に及びえる中、焼け跡整理に追われ、満足に授業ができない空襲直後の青空教室の実態をうかがうことができます。博物館では、七月十六日(土)午前十時から、「リレートーク」市民が探る平塚空襲を開催し、空襲体験者の証言と平塚の空襲と戦災を記録する会の調査研究成果から平塚大空襲の実態に迫ります(参加自由)。

▽担当 博物館(☎33-5111)

平塚写真スケッチ



空色のバトンタッチ

河内川のおじさん

空の色が川面に映り、その下で昔見た魚が泳いでいる。きれいになったでしょ。河内川を守る「おじさんの会」の人がうれしそうに話してくれた。

六月五日、旭地区を流れる河内川で初めての「あじさいまつり」が開かれた。一千七百本のあじさいが川岸に並ぶ。河内川はその昔、うなぎが泳ぎ、ホタルが舞う川だった。しかし、暮らしが豊かになるにつれ、様々なごみが捨てられてしまった。そんな姿を嘆いた人たちが、きれいな川を取り戻そうと情熱を注いでいる。「先人たちが守ってきた豊かな環境は、しっかりと未来へ受け継がなければならない」。地域の人の思いが今、川をよみがえらせている。澄んだ青い空、夕焼けの赤い空。梅雨の時期、めつたに見られない空色は、しばらくの間、あじさいたちに預けられる。今はまだ白いあじさいたちが、もうすぐ鮮やかな空色を川面に映し出す。(広報課)